

# 槌田劭さん講演会

先日新聞で原発賠償京都訴訟原告団の記事が目にとまり、早速出版された冊子を探しました。この頃では2011年3月11日の震災当時と違って、あまりニュースに取り上げられません。まだ不具合はあるけれど、少しずつ避難した方々が帰還できるようになったと。でも、2017年4月からは自主避難者の無償提供はうち切られ、法定被曝線量は年間1ミリシーベルトなのに福島のそれは20ミリシーベルトにされたまま。福島では甲状腺等健康に異常をきたしている大人、子どもたちがたくさんいるのに、ここまで聞こえてきません。自分で知ろうとしない限り。

冊子には「58世帯175名(後に1世帯1名が取りさげ)がこの京都の地で、数奇な運命でもって京都地方裁判所へ集結しています」(京都訴訟原告団共同代表 福島敦子さん)と。2013年9月17日を皮切りに2014年3月7日、2015年7月7日提訴。事故はなかったこととして再稼働を推し進める国と東京電力に

対し責任を問う。結審が2018年3月15日。京都の地に避難して来られた方々の震災から今日までのこと、震災がなければ普通に、穏やかに家族揃って生活されていたはずなのに。離れての生活、避難先の学校でのいじめ、避難のこと等話しづらい地元……。何処でも事故が起これば、同じようなことが繰り返されることが容易に想像できます。普通に、そここの人が背負わされたことに、そここの人間が学ばないと、と思います。

槌田劭さんは震災後の2011年11月にも、まるごと館でお話して下さっています。どうぞお越し下さい。

**日時:3月8日(木) 13時30分～**

**参加費:100円**

**場所:八幡まるごと館**

冊子「私たちの決断」(原発賠償京都訴訟原告団編)はまるごと館に置いてありますのでお読み下さい

## 槌田劭さん

1935年生まれ  
1973年使い捨て時代を考える会を設立  
現在相談役  
前京都大学工学部助教授(金属物理学)  
前京都精華大学教員(環境社会学)  
1978年伊方原発裁判に原子炉心  
担当原告側証人として関わる  
著書に『脱原発・共生の道』(2011.6)  
『原発事故後の日本を生きるとい  
うこと』(2012.11)等多数

八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20  
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)  
(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

